

日本学校ソーシャルワーク学会関東甲信越地区

平成21年度SSW研究会公開講演会

日本におけるスクールソーシャルワーク の源流をめぐって

～戦後の長欠・不就学対策とスクールソーシャルワーク～

講師：倉石一郎先生（東京外国語大学准教授）

日時：2010年3月11日（木）18:30～20:30

場所：目白大学 10号館 10408教室

講演概要

敗戦後間もない混乱期から1970年代にかけて、高知県地方には福祉教員というユニークな制度があった。かれらは一方で特定の学校に籍を置く教員でありながら、もっぱら校外を駆けめぐり、児童・生徒の生活状況と学校教育との間に起こるさまざまな矛盾の克服を務めとした。

戦後新教育が直面した、最初の大きな試練である長欠・不就学問題への切り札として大きな注目を集め、また地域性を反映して被差別部落とのかかわりに大きな比重が置かれたことから、戦後同和教育の先駆と見なす議論もある。いずれにせよ確かなのは、近年日本でも関心が高まっているスクールソーシャルワークの一つの源流が、ここにあるということである。昨年末に刊行した拙著『包摂と排除の教育学』（生活書院刊）第2部で行った一応のまとめも振り返りつつ、福祉教員に対する自分自身の関心をお話してきたらと考えている。

★ 参加費は無料です。会場に直接お越しください。

<問い合わせ先>（問い合わせはメールにてお願いします）

〒161-8539 東京都新宿区中落合4-31-1 目白大学人間福祉学科 大崎研究室
TEL 03-5996-3164 (内線 786) FAX 03-5996-3060 E-mail osaki@mejiro.ac.jp